

◎現場管理(日報・出来高管理)システム

主な機能

- 1 実行予算データ(代価作造)から、工種・資機材データの取込み
- 2 工種の追加・編集
- 3 資機材調達業者の登録
- 4 スtockヤード納品入力
- 5 日々の日報入力(品管事項、施工数量、投入資機材、職員など)
- 6 日報データの集計
- 7 工事現況報告書出力

現況報告書、工事費内訳書、投入原価集計表、未使用材料表、日々日報など

主な特徴

- 1 実行予算データ(代価作造)との連携
- 2 貴社に合わせた報告様式へのカスタマイズ
- 3 出力帳票はエクセル上に作成
- 4 自由な資機材の変更・追加

実行予算・見積作成ソフトウェア 代価作造

Version 7

舗装工事、土木工事向け「実行予算・見積作成ソフトウェア」=【代価作造】のご紹介。

これまでお使いいただいた多くのお客様のご要望にお応えして、大きく機能アップしました。

特に、工種内訳作成画面にご注目下さい

作成される実行予算書、見積書はすべてエクセル上に作成されます。

現場施工に直結する実行予算の作成、迅速な見積書作成を支援します



- 実行予算書のスピード作成
- 費目別、資機材別の調達支援
- 提出見積りへの連携、見積書の作成
- 現場日報・出来高管理への連携(オプション)

1. ミスなく正確に

1工種1表で、工種内容が見える予算書を作ります。査定も容易です。
 資機材の数量算出根拠が見えます。
 施工数量や単価変更の際も自動計算で、計算ミスがありません。
 工種ライブラリを使って、拾い忘れや見積もり漏れを無くします。
 未入力や誤入力、単価が不一致などは色やメッセージで表示されます。

2. 簡単に、スピーディに

コードレスで資機材をドラッグ&ドロップするだけ。
 工種単位、資機材単位でのコピー&貼り付けが簡単。
 事前の材料コード表は不要。その場で材料入力ができ、自動で単価表が作成されます。
 エクセル風の操作感で編集でき工種を作成します。
 費目組換え、単価一括修正、間接費の一括計上機能などで迅速に作成できます。

3. データが生かせる

作成帳票はエクセル上に作成されます。メールでの送受信や査定承認業務に使えます。
 過去工事のライブラリとして、次の工事に生かせます。
 発注・調達支援に役立ちます。
 現場管理(出来高、日報管理)に連携します。



実行予算・見積作成システム「代価作造」の導入について

動作環境

Windowsパソコン OS= Windows 10
 ハードディスク システムインストール時 約300MB
 ユーザーデータエリア 作成データ量によりますが、数百MB~1GB程度
 必要ソフトウェア EXCEL 2016以後 または Microsoft365

※ご購入時に添付される、起動認証用チップ(HASP)をUSBに挿入して動作します。

価格構成

- ① パッケージ基本ソフトウェア (所要セット数によりお見積り致します)
- ② 貴社向けオーダー作成部分
- ③ 設定作業費、教育講習費、保守作業費

お問合せ 販売元



株式会社
コスモシステムズ

〒277-0932 千葉県柏市藤ヶ谷新田34-9
 Tel. 04-7170-1080 携帯 080-8031-3834
 担当者 村尾 一彦
 Mail. murao@cosmo-group.com

ホームページ

・株式会社コスモシステムズ
<http://www.cosmo-group.com/cosmosystems/index.html>
 ・グループ会社 株式会社コスモロード
<http://www.cosmo-group.com/>

1. 実行予算作成

工事名登録
工事番号・工事名を登録

工種内訳作成
新規作成、別工事からコピー、代価マスタ利用、工種コピーなどの方法により

予算書出力
エクセル上に出力作成

2. 提出見積書作成

工種単価修正
工種毎単価の割掛・修正入力
大工種の登録、間接費、経費提出先などの入力作業

EXCEL 2003, 2007, 2010 ブック
見積書鑑
工事内訳書
見積概要書
特記仕様書

作成された実行予算データから工種データを取込みます。

EXCEL 2003, 2007, 2010 ブック
実行予算書鑑
工事費内訳書
費目別資機材集計表
工種内訳表 001
工種内訳表 002
工種内訳表 nnn

工種編集・作成メニュー

- 新規作成
- 新規作成(代価マスタ参照)
- 代価コピー
- 代価貼り付け
- 代価削除
- 工種コード変更

間接費読み込み機能
全直工工種から機械費を検索し回送費をまとめる場合などに使用します。

主要機能一覧

- ◎実行予算作成
1. 工種内訳第一画面
予算データの書庫作成、書庫への入出工種のコピー・複写・削除・工種コード変更
単価一括修正機能
工事費計算機能
 2. 工種内訳第二画面
表示工種の印刷、プレビュー
資機材明細行の挿入・削除・コピー・移動
数量算出式、燃料計算式の設定
計算用変数設定、丸め関数設定
間接費読み込み機能
費目別集計機能
雑品丸め機能
豆図設定
 3. 予算書出力
 4. 予算データを新工事番号へ複写
 5. 別ディスク(USBメモリ, 共有フォルダ)への複写・取込
- ◎提出見積作成
1. 予算取込
 2. 大工種登録
 3. 工種単価修正・計算シミュレーション
 4. 見積書出力

※1 数量算出式とは

工種を構成する「資機材の数量」を計算する式
例えば、舗装のアスファルト混合物の数量計算する場合、
数量=施工面積(V)×厚さ(H)×密度×割増 とすると、
数量計算式には“=V*H*2.35*0.05” のように設定する。
これにより施工面積:Vや厚さ:Hが変更された時自動計算される
工種内訳表にもこの算出根拠が記載され印刷される。

※2 燃料算出式とは

機械の燃料を計算し「燃料計算行」に自動集計する
燃料=時間燃費(L/h)×日稼働時間(h)×施工日数(D) とすると
燃料計算式には“=5.5*3*D” のように設定しておく。
施工日数が変更されても自動的に計算される。

工種内訳 第二画面 (以下のように数式を設定して作成すると、工種数量:V や施工日数:D が変われば各行資機材の数量も自動で再計算されます。)

「資機材単価マスタ」
エクスペンドラ風に階層表示される。追加・編集が可能。ドラッグ&ドロップで作成中の工種に追加

「工事単価表」
工種を保存する毎に自動的に追加される。費目順に表示され、ドラッグ&ドロップで作成中の工種に追加

- 費目選択リスト**
- 01. 材料費
 - 02. 労務費
 - 03. 外注費
 - 04. 機械費
 - 05. 外機械費
 - 61. 仮設費
 - 62. 運搬費
 - 63. 安全費
 - 64. 技術管理
 - 08. 動水光熱
 - 09. 労務管理
 - 10. 租税公課
 - 11. 地代家賃
 - 12. 工事部員
 - 13. 自動車費
 - 14. 法定福利
 - 15. 福利厚生
 - 16. 事務用品
 - 17. 通信費
 - 18. 交通費

資機材行の編集機能

- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- 空行挿入
- コピーした行の挿入
- 削除
- 並べ替え
- 費目組換

費目別単価
費目別金額

数量算出式 ※1

燃料算出式 ※2

数量算出式の結果数量
手入力も可能

算出式で使う変数

ドラッグ&ドロップ

ドラッグ&ドロップ

土木技術者の皆様へ

このような問題をかかえていませんか？

- ・見積件数が多く、間に合わない、残業・残業が続く・・・！！
- ・施工計画～実行予算提出まで時間が無い！ 予算作成に時間がかかる！
- ・実行予算内容に問題がある！ 見積り漏れがある、算出根拠が見えない・・・

◎従来、エクセルで実行予算を作成していたケース

実行予算の作成は、エクセルの機能でうまくできそうですが、複雑なシート連携、難しい関数を使った予算システムになってしまいがちです。その結果次のような問題はないでしょうか？

- 問題点**
- ・使っているうちにエクセルのシート連携を壊してしまう
 - ・数式や関数の上から数値を入力し、数式をつぶしてしまう
 - ・数量に計算式を入れているが、それ（算出根拠）が見えない
 - ・数量変更や単価変更した場合、うまく連携計算しない
 - ・変更予算がうまく作れない
 - ・エクセルを使える人でないと操作が難しい
 - ・徐々に書式や社内様式が変更され、我流の書類になってしまう
 - ・予算内容の歩掛や資機材調達実績などの統計分析ができない

◎利用中のソフトが資機材コードベースで予算を作成するケース

- 問題点**
- ・インプット作業が多くストレス
 - ・事前に資機材コード表を作成しておかなくてはならない
 - ・未登録資機材が発生した場合、コード登録へ戻る煩雑さ
 - ・コード表の構成をある程度覚えないと効率が悪い

◎国交省の積算基準に基づくシステムで予算を作成しているケース

- 問題点**
- ・多層階層の工種構成になっていて、工種内容が一表で見えない
 - ・運用操作に慣れるにはトレーニングが必要
 - ・率計算や歩掛数表などから求める原価が多く、実行予算と異なる場合も
 - ・パッケージソフトで費目や書式も各社に合わせづらい
 - ・実行予算として作成するには独自の歩掛データをたくさん作る必要あり
 - ・値段が高く、現場職員へ配布するにはコストがかかる

実行予算・見積作成に「代価作造」をお試し下さい

● このソフトの特徴は？

1. 施工計画・現場施工に基づく工種内訳で、予算作成を行います

(※ 国土交通省土木工事積算基準とは異なる積算システムです)

2. 算出根拠が明らかな「見える工種内訳」の作成ができます

- ▶ 工種内容が1表で見えます。下位の歩掛は作成しません。
- ▶ 各資機材には数量算出式が設定・記載できて、見直しや査定が容易です。

3. 入力作業を大幅に削減し、スピーディな実行予算作成が可能です。

- ▶ 工種内訳をコードレスで作成します。あらかじめ単価表を作る必要もありません。
- ▶ 代価マスタ（工種ライブラリ）や過去工事の工種内訳の利用により作成が容易です。
- ▶ 算定式の自動計算機能やエクセル感覚の編集機能で工種内訳を簡単作成。
- ▶ 全工種の単価一括修正、費目組換え、回送費などの自動計上機能など便利な機能を搭載。

4. 変更・追加予算の作成も簡単です。

- ▶ 算定式の数量計算機能、単価修正機能、費目組換え機能などにより変更予算の作成も容易。
 - ・ 施工数量変更や新工種の作成、調達単価の変更が簡単にできます

5. 実行予算書、見積書の全ての帳票はエクセル上に作成されます

- ▶ エクセルブックなので電子メールで送受信したり、共有フォルダに一括保存可能です。
 - ・ 作成された予算書をメールで遠隔地に送ったり、査定承認に利用することが容易になります
- ▶ 提出時に細かな書式の微調整や修正を行ってから印刷することができる。
- ▶ 貴社の仕様に合わせて出力帳票（エクセル上に）を安価にオーダーメイドできます。

6. 予算から提出見積へ、簡単操作で連携、業務負担の大幅削減。

- ・ 施工単価の割掛計算機能などにより迅速に提出見積書を作成できます
- ・ 見積書の作成はエクセル上に行われます

7. 現場管理(日報管理、出来高管理)に連携します

(※現場管理プログラムはオプションです)